

わたしたちの

高原町 防災マップ

◎ 地域で家族で事前の備えをしっかりと ◎



出典：(一財)消防防災科学センター「災害写真データベース」

高原町役場

〒889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地
Tel:0984-42-2111(代表)/Fax:0984-42-4623
開庁時間:月曜～金曜日 午前8時30分から午後5時15分まで
(祝日、12月29日～1月3日を除く)
高原町HP:<https://www.town.takaharu.lg.jp/>



高原町 役場 検索

索引

避難情報・災害対策基本法----- 1	高原町全域地図 地震液状化図 --- 18,19
防災対策 チェック ----- 2	火山災害 ----- 20,21
非常持ち出し品 チェックリスト ----- 3	新燃岳に噴火警報が発表された場合---22
防災学習 基本的事項-----4,5	御鉢に噴火警報が発表された場合 ---23
防災学習 小学校 1～3年生----- 6	大幡池に噴火警報が発表された場合---24
防災学習 小学校 4～6年生----- 7	火山災害 学習 -----25
防災学習 中学校 1～3年生----- 8	火災・消防・救急----- 26,27
防災学習 問題集 ----- 9	自主防災組織 -----28
風水害 -----10	避難の際の心得・避難所でのマナー --29
台風災害 -----11	避難所一覧 -----30
洪水災害 -----12	感染症対策 -----31
土砂災害 -----13	マイ・タイムライン----- 32,33
地震災害 -----14	防災情報の収集 -----34
南海トラフ -----15	情報伝達 緊急時連絡先 -----35
高原町全域地図 地震震度分布図 16,17	備蓄品 -----36

高原町総合防災マップ

本冊子「高原町防災マップ」は町民の皆さまにとって毎日の安全・安心な生活に深く関わりのある防災情報や避難所などを紹介しております。

発行日:2023年3月15日

発行者:高原町役場 総務課危機管理係

住所:〒889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地

TEL:0984-42-2111

URL:<https://www.town.takaharu.lg.jp/>

製作会社:久永情報マネジメント株式会社

この冊子に掲載されている防災情報や避難所等に関するお問い合わせは、高原町役場までご連絡ください。また情報内容が変わっている場合もありますのでご了承ください。

- ◆本書の一部あるいは全部について高原町役場から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは著作権法により禁止されています。
- ◆落丁本・乱丁本につきましては、高原町役場にてお取り替えいたします。

避難情報・災害対策基本法

〈避難情報等〉

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	浸水の恐れがなく、崖から離れた自宅の部屋などで安全を確保しましょう。	緊急安全確保 ※1
～〈警戒レベル4までに必ず避難〉～		
警戒レベル4	危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示 ※2
警戒レベル3	避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は、危険な場所から避難しましょう。	高齢者等避難 ※3
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	— (気象庁が発表)
警戒レベル1	防災気象情報等の最新情報に注意する等、災害への心構えを高める。	— (気象庁が発表)

〈防災気象情報〉

大雨特別警報
氾濫発生情報

土砂災害警戒情報
氾濫危険情報

大雨・洪水警報
氾濫警戒情報

大雨・洪水・高潮
注意報

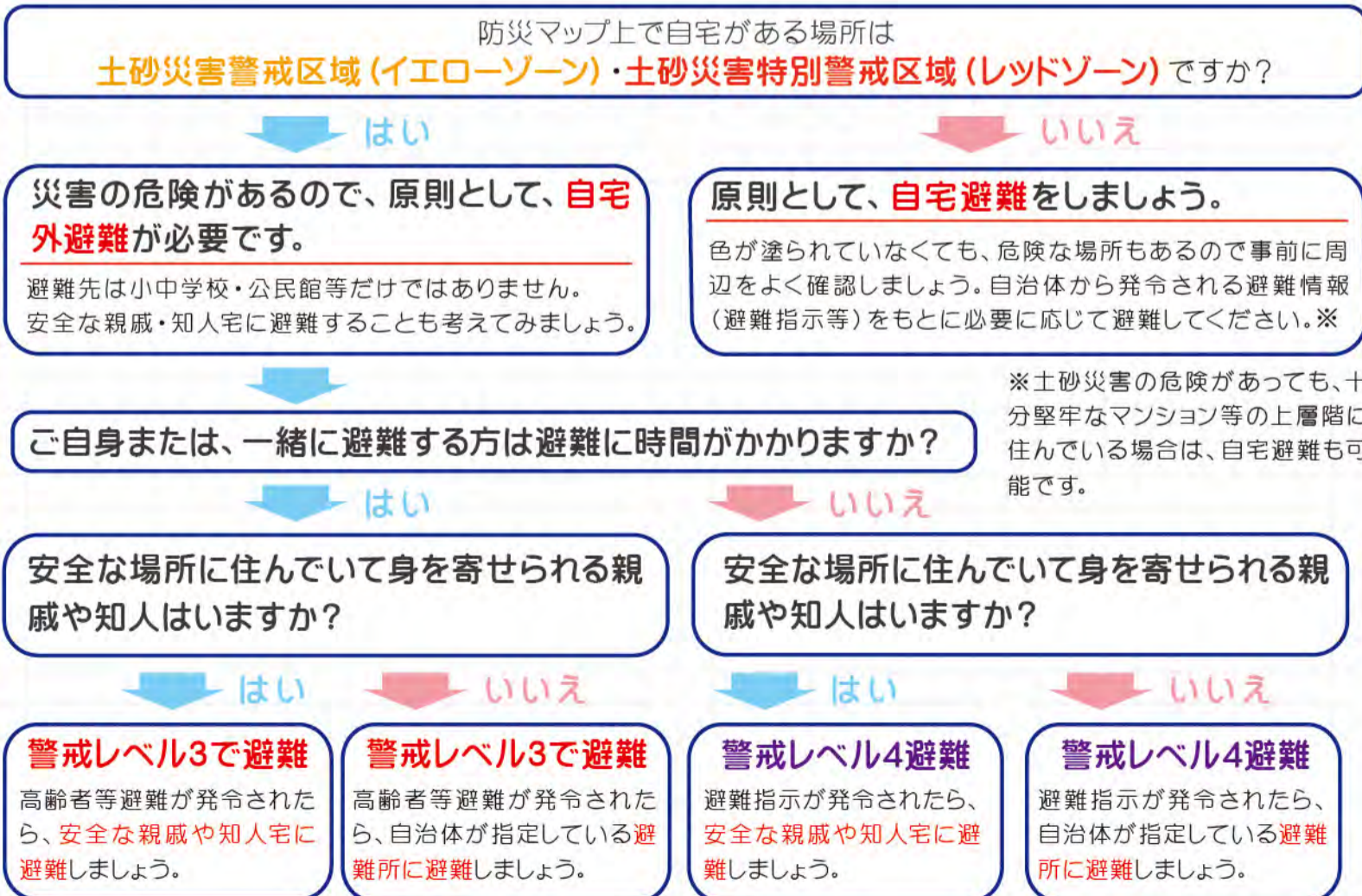
早期注意情報

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難行動判定フロー

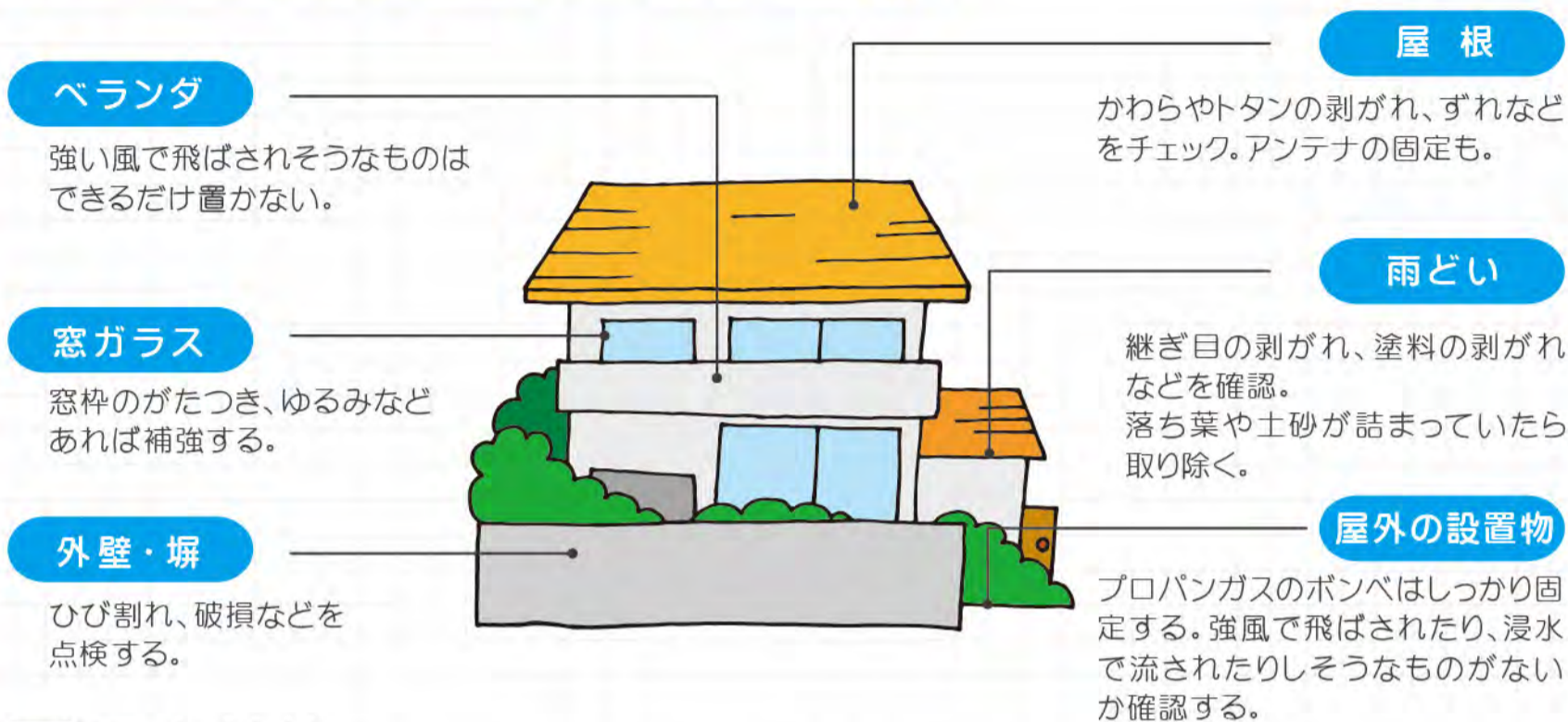


避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

防災対策チェック

災害はいつ襲ってくるかわかりません。被害を最小限に食い止めるためには、日頃の準備が大切です。

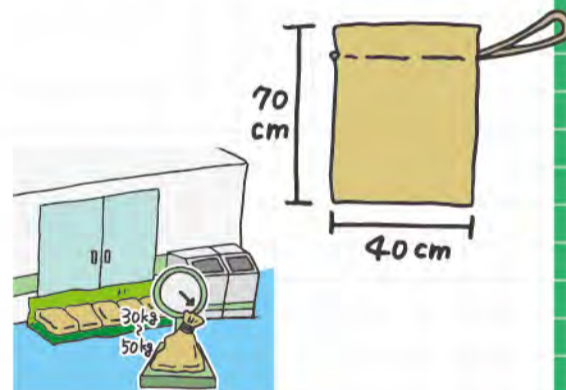
》》 自宅周辺の安全対策



☑ 浸水対策

水を防ぐ、止水板や土のうを普段から用意ときましょう。

- 長めの板や土のうを使用し水が入らないようにしましょう。
- 土のうがない場合は、水を入れたゴミ袋やポリタンクでも水が入ってくることを減らせます。



》》 自宅内の安全対策

☑ 家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておきましょう。

- けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



☑ けがの防止対策をしておきましょう。

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどをリビングや寝室などの身近な場所に準備しておく。



非常持ち出し品チェックリスト

いざという時のために下記リストを参考に準備しましょう。
また、備蓄品の飲食物は保存期間に注意しましょう。

非常時の持出品（すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう。）

- 貴重品 キャッシュカード 預金通帳 印鑑 免許証・マイナンバーカード
 健康保険証
- 非常食 飲料水(ペットボトル) 栄養補助食品 菓子類
- 救急
医薬品 お薬手帳 持病薬 常備薬(風邪薬・傷薬など)
 ばんそうこう 消毒液 マスク 除菌シート 体温計
- 生活用品 衣類 防寒着 雨具 タオル ティッシュ(ウェット)
 運動靴 軍手 帽子又は防災ずきん ライター
 ビニール袋 生理用品 ラップフィルム
- その他 携帯ラジオ 携帯電話 充電器 懐中電灯 ホイッスル
 電池 筆記用具 メガネ 思い出品



備蓄品（1週間分の備蓄を心がけましょう。）

- 食料・飲料水 飲料水(1人1日3リットル) 缶詰
 栄養補助食品 インスタント・レトルト食品
- 燃料など 卓上コンロ ガスボンベ 固形燃料
- 生活用品 毛布 寝袋 洗面用具 鍋 やかん バケツ
 トイレットペーパー 携帯トイレ 使い捨てカイロ
- その他 ビニールシート 新聞紙 ろうそく ガムテープ
 ロープ ポリタンク



赤ちゃんや介護を必要とする方がいる場合は、次のようなものがが必要です。

- ミルク、ほ乳びん 離乳食、食器 おかゆなどの食料品(介護食) 衣類(着替え)
- 帽子・防寒着 バスタオル ガーゼ・ハンカチ 乳幼児用の薬 常備薬
- 消毒液 紙おむつ お尻拭き おんぶひも 介護用品
- 母子健康手帳 障害者手帳、介護保険証など
- _____ _____ _____
- _____ _____ _____

※赤ちゃんや介護者の状態などに応じて備えてください

ローリングストック法（消費しながら備える）

ローリングストック法とは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料、衛生用品等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが目的です。

※1週間分の食料を備蓄しましょう。



🌟 **ポイント1** 古いものから使うこと

🌟 **ポイント2** 使った分は必ず補充すること

防災学習 基本的事項

家族防災会議をしよう

災害はいつおこるかわからない。いざというとき、どうすればいいのかわか
家族で話し合っておこう！

避難場所などを確認する

避難場所や避難所までどうやっていくの
かを話し合っておきましょう。

電話やメールで連絡がとれないときにど
こで落ち合うのかも決めておきましょう。

お迎えのルールを確認する

火災などの危険がなくなるまで帰宅して
はいけません。

また、おうちの人がお迎えに行くときのル
ールや、お迎えができないときの対策も確
認しておきましょう。

家族の役割を決めておこう

「誰が」、「何を」するのか、日常的な防災
の役割と、災害が起こったときの役割を決
めておきましょう。

- 火の元担当
- 非常持出担当 など

新しい連絡方法を知ろう

パソコンやスマートフォンを使った新しい連
絡方法などを学び、お年よりなど苦手な人
でもできるように、家族で教えあいましょう。



防災マップをもって近所を歩いてみよう

防災マップをもって家族で、近所や自宅・駅などから避
難場所や避難所までの道を歩いてみましょう。

実際に歩いてみると、崖や川が近い、工事現場がある、
道がせまい、交通量が多いなど、さまざまなチェックポイ
ントが見えてきます。

また、曜日や時間帯を変えて歩いてみると、違った気づ
きもあります。



ひなん ぼしよ ひなんじよ
※避難場所・避難所

むか
※お迎えルール

かそく
※家族のやくわり

れんらく ほうほう
※あたらしい連絡方法

● ひなん ぼしよ しら
避難場所を調べよう

きけん ぼしよ ひなんぼしよ しら
※危険な場所と、避難場所を調べよう

がっこう いえ かえ みち か ちず
※学校から家までの帰り道を書いたり、地図をはったりして、

あんぜん ぼしよ きけん ぼしよ
・安全な場所には ○ 危険な場所には × をつけましょう。

かそく はな あ か
・家族といっしょに、話し合いながら書いてみましょう。

ひなん ぼしよ あんぜん みち しるし
・また、避難場所への安全な道にも印をつけましょう。



MEMO

防災学習 小学校1～3年生

》》 高原町防災マップってなに？

高原町には、地震や大雨などさまざまな災害がおこる可能性があります。

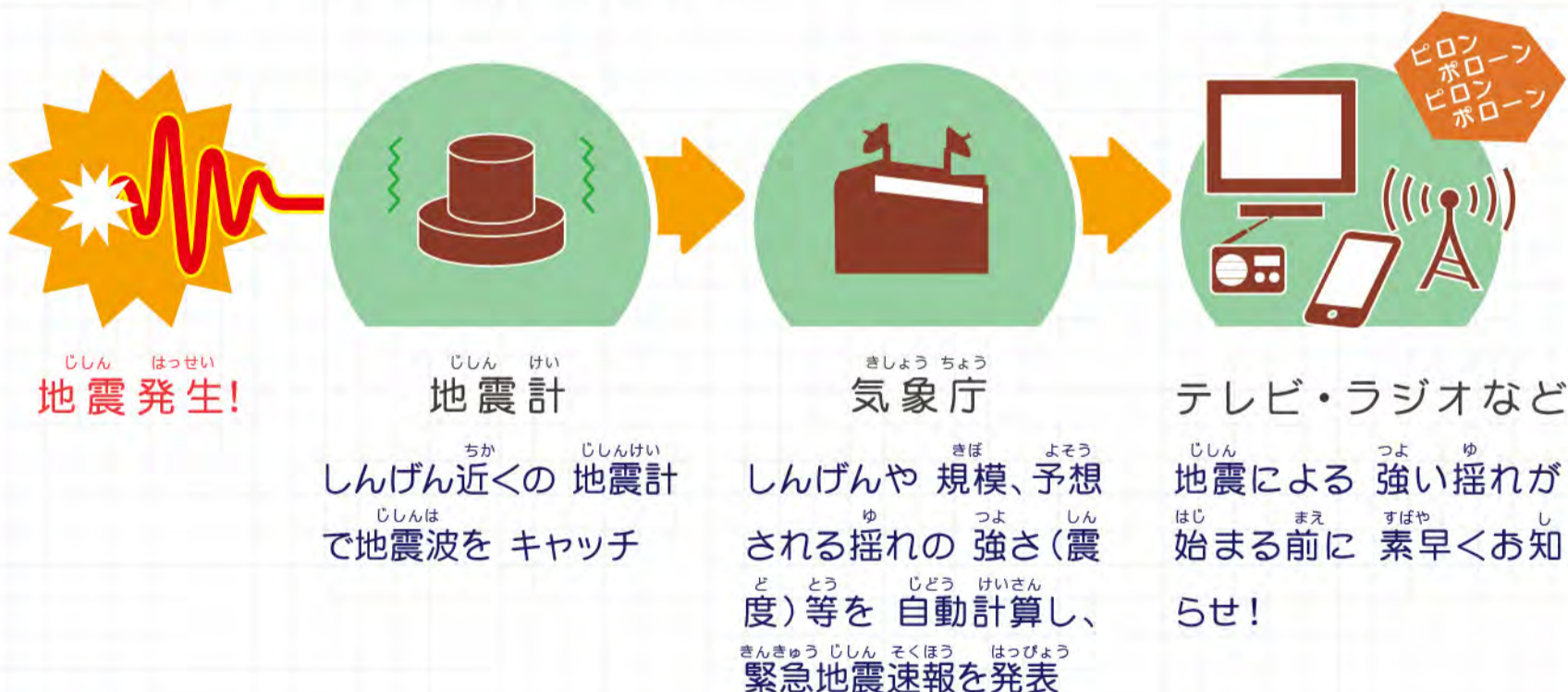
【高原町防災マップ】は、災害のおきそうな場所や避難場所をお知らせするためにつくられました。



》》 緊急地震速報ってなに？

緊急地震速報は、地震が発生してすぐに強いゆれの到達時刻や震度をよそし、かのような限り早く知らせる情報のことです。

緊急地震速報のながれ



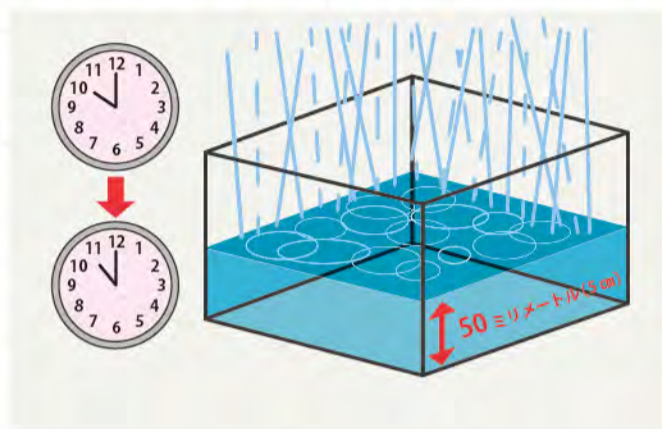
MEMO

防災学習 小学校4～6年生

》》 降水量が50mmってどんな雨？

降水量とは、降った雨が流れ出ずに、全て貯まった場合に「1時間に雨水が50mmの高さまで貯まる」規模の雨です。

降った雨は河川に集まって流れ、雨の量が多い場合は、河川の氾濫により【洪水】や建物物が水に浸かる【浸水】が引き起こされます。



》》 土砂災害ってなに？

土砂災害は、山や崖が崩れて沢山の土や石などが雨水や川の水と混じって流れてくる災害のことです。

発生する原因は、【大雨】、【地震】、【火山のふんか】などがあります。



》》 火山ふんかってなに？

火山ふんかとは、火山の火口が開き、地球の地下深部で発生したマグマや火山灰等が地表に噴出する現象のことです。

火山活動の寿命は長いことから、現在休止している火山を含め、過去に噴火記録のある火山や今後噴火する可能性がある火山は、すべて「活火山」と分類されるようになりました。



防災学習 中学校1～3年生

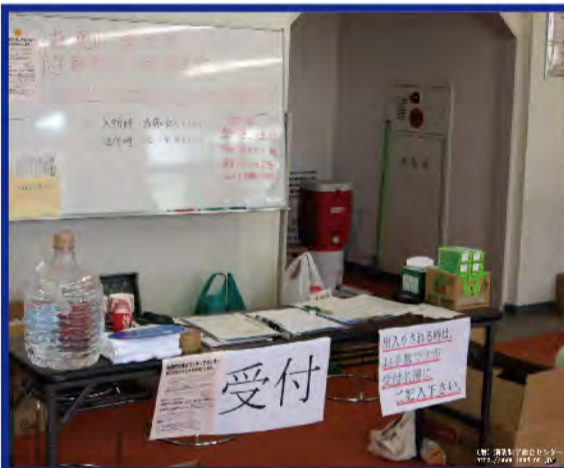
》》 避難所での役割を考えてみましょう

避難所では衣食住が全て満たされるわけではありません、いろいろな人が一斉に集まりいろいろな問題がうまれてしまいます。

下記の写真を見て**私ならどんな手助けができるか?**を考えてみましょう。



救援物資の受け入れ 



避難所の受付 



避難所(体育館)生活 



食事の配布 

防災学習 問題集

》》 次の文章を読んで、問いに答えましょう

Q 町は国や県からもらったデータをもとに災害がおきそうな場所を知らせる(1)をつくっています。(1)をつくることで町民に災害がおきそうな場所や(2)場所を伝えることができます。

Q 地震からみんなを守るため、国や町はさまざまな取り組みをおこなっています。地震の揺れがあった時、気象庁は(3)をだします。少しでも早く危険を知らせることで、みんなの命を守ることができます。

Q 災害に関する情報を受け取ったり、まわりの変化に気づいたらできるだけ素早く行動することが大切です。

たとえば大雨が長時間ふり続けているときは川などの氾濫による(4)や(5)がおきたり、山の斜面がとつぜん崩れる(6)が起きるかもしれません。

また、(7)がふん火したら、ふん石や火山灰が飛んできたり、火さい流がくるかもしれません。



☑ 上の文書の()に適する言葉をいれましょう。

(1)

(6)

(2)

(7)

(3)

(4)

(5)

まわ はな
周りと話し
あ が
合って書いて
みよう!



※答えは、次のページ(P10)に記載してあります。

》》 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で梅雨の終わりごろによく発生します。

中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどにより大きな被害をもたらすことがあります。

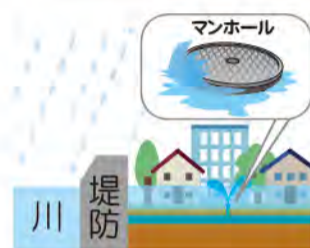
☑ 短時間で危険な水位

河川、溪流、雨水路などは、激しい雨が降ることやまわりから雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。



☑ 内水はん濫に注意

集中豪雨等により水量が雨水路等の排水能力を超えると、あふれた水が低い場所に集まり、短時間のうちに浸水が起こる場合があります。



☑ 離れた場所の雨でも影響する

自分のいる場所で強い雨が降っていなくても、上流で降った雨が流れてきて、下流ではん濫する場合があります。



》》 竜巻

竜巻は、発達した積乱雲に伴う強い上昇気流によって発生する激しい渦巻きです。台風や寒冷前線、低気圧など積乱雲が発生しやすい気象条件に伴って発生しやすくなっています。

☑ 短時間で狭い範囲に集中して被害をもたらす場合があります

被害は数分～数十分で長さ数km～数十km・幅数十m～数百mの狭い範囲に集中します。



☑ 移動スピードが非常に速い場合があります

自動車以上の移動スピードになる場合があります。

☑ 建物が倒れたり、車がひっくり返ることがあります

強い竜巻に襲われると、強い風によって建物が倒壊したり、車が転倒することがあります。

☑ 様々なものが竜巻に巻き上げられたり、猛スピードで飛んでくることがあります

人や様々なものが飛ばされるだけでなく、巻き上げられたものが猛スピードで飛んでくるとも竜巻の恐ろしさです。

台風災害

台風の予報

台風は、毎年のように日本に襲来し、きわめて大きな災害をもたらすことがあります。

台風の接近が予想される際は、台風情報に十分に注意し、被害のないように備えることが必要です。

台風の大きさと強さ

気象庁は、台風のおおよその勢力を示す目安として、風速をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。

台風の大きさ

階級	風速 15m/秒以上の強風域の半径
大型 (大きい)	500km 以上～800km 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上

台風の強さ

階級	最大風速
強い	33m/秒以上～44m/秒未満
非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
猛烈な	54m/秒以上



雨の強さと降り方 (1時間雨量)

時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じる

落雷

台風は、多くの積乱雲が集まってできた巨大な渦巻きです。発達した積乱雲の下では大雨に加え雷を伴うこともあります。

雷は、積乱雲の位置次第で、海面、平野、山岳など場所を選ばず落ちます。

また、周囲より高いものほど落ちやすいという特徴がありグラウンド、平地、山頂、尾根等の周囲の開けた場所にいると、積乱雲から直接人体に落雷(「直撃雷」といいます)することがあります。

落雷に遭遇した場合の対策

鉄筋コンクリート建築、自動車(オープンカーは不可)、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。

また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、**全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れれば更に安全です。**



落雷から家電製品を守るには

落雷により、室内の家電製品に過度の電流が伝わり、家電製品や電子機器が壊れることがあります。雷発生時に室内にいるときは、**家電をコンセントから抜くこと**で対策をとることができます。さらに、過度な電流を食い止めるグッズを使っておくと安心です。

洪水災害

洪水

大雨などを原因として、河川の流量が異常に増加することによって堤防の浸食や決壊、橋の流出等が起こる災害を洪水災害といいます。

一般的には、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりすることによって起こる氾濫を洪水と呼んでいます。

洪水はん濫は、どうやって起こるのか

河川の水によるはん濫
(外水はん濫)



大雨によって川の水が増え始めます。

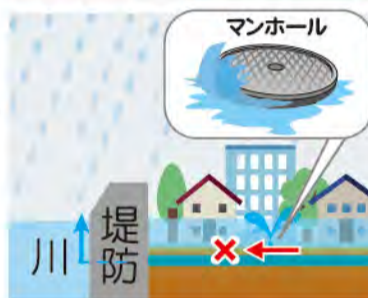


水位が上昇し、川の堤防を越えて水があふれます。

河川に排水できない水によるはん濫
(内水はん濫)



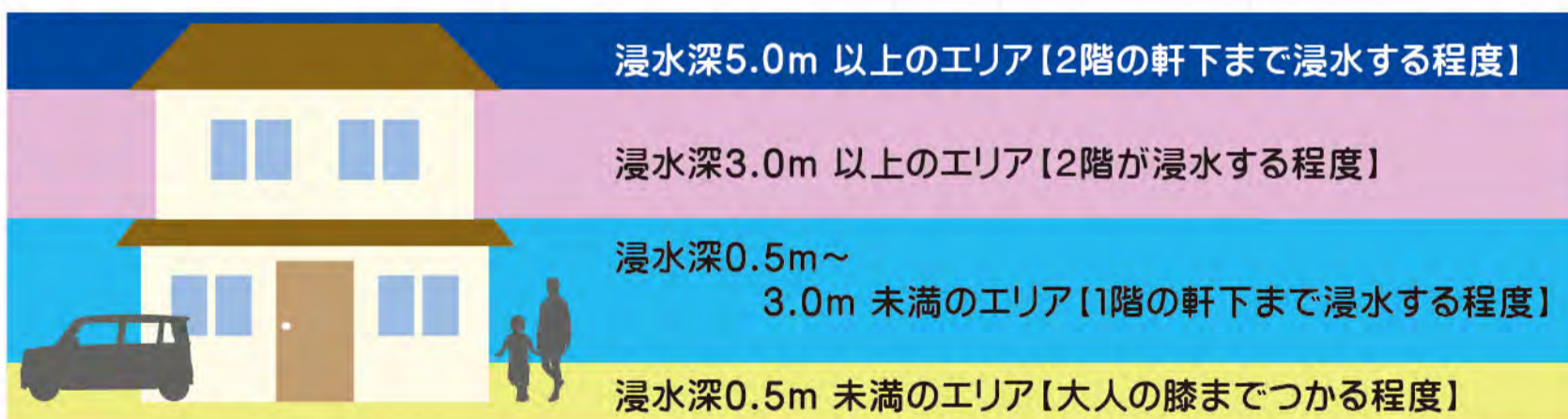
降った雨は、排水路などとおって川に排水されます。



大雨が降ると川の水位が上がり、川に排水されずに排水路などから水があふれます。

※排水路の排水能力を超える雨が降った場合にも、内水はん濫が発生するおそれがあります。

浸水想定



歩いて避難するときは避難中に被災しないよう足元に十分注意し、避難するルートは、できるだけ河川から離れた高い道路を通りましょう。もし、避難する道がすでに冠水しているときは足元がどうなっているか見えにくく歩き慣れた道であっても、杖のような棒を持って、足元が大丈夫か確認しながら避難しましょう。

車での避難時も浸水深に気を付けま

しょう。浸水深が深くなると、クルマが浮いて前後に動かなくなり排気管等が水圧で塞がれてしまい、エンジンが停止します。そのうえ水圧でドアや窓も開かず避難行動が困難になります。

避難が遅れた場合は自宅上層階で待避、ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要です。



土砂災害

》》 土砂災害が発生しやすい時

土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があります。

日本では近年、「集中豪雨」や「局地的大雨」が増えていますが、これらは発達した積乱雲（入道雲）によって引き起こされます。

こうした「集中豪雨」や「局地的大雨」が発生した時は土砂災害の危険性も高まるので、特に注意が必要です。

》》 土砂災害の警戒区域

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

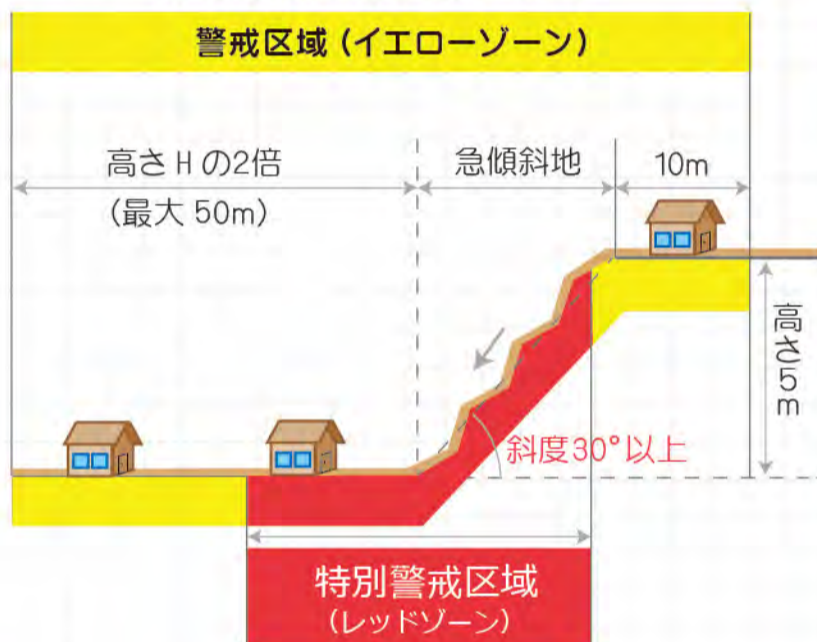
※イエローゾーンは、地形で決定

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

※レッドゾーンは、高さ・斜度・土質等から計算で決定

特別区域・特別警戒区域の指定範囲 （急傾斜地の崩壊の場合）



》》 土砂災害の種類

「土石流危険渓流」

土石流



斜面の土・石・砂が大雨による水とともに、一気に谷を流れ下る現象。

「急傾斜地崩壊危険箇所」

斜面崩壊
（がけ崩れ）



急ながけ地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象。

国内で最も件数の多い土砂災害。

「地すべり危険箇所」

地すべり



粘土などの地層の上にある斜面部が、ゆっくり動きだす現象。

地震発生時の時間経過と行動

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。

地震発生

揺れがおさまって

2分
〜
5分

5分
〜
10分

10分
〜
半日

半日
〜
3日

● まず、身の安全

- ・ 家族への声かけ。
- ・ 家具から離れる。
- ・ クッション、雑誌などで頭を保護する。
- ・ 机の下に入る。
- ・ ガラス面から離れる。



● 揺れがおさまった、落ち着いて行動

- ・ 台所やストーブなど火の始末をする。
- ・ 避難の時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。
- ・ 危険なので、あわてて外に飛び出さない。



● 家族の身の安全を確認、確保

- ・ 津波警報発表時は、すぐに危険区域から率先避難する。
- ・ 家族の安全の確認、確保をする。
- ・ 災害情報、避難情報を入手する。
- ・ 避難のための出口の確保をする。
- ・ ガラス片や転倒家具に注意する。



● 隣近所の安否確認、助け合い(可能な場合)

- ・ 余震による家屋の倒壊や津波の危険があるため、津波警報が解除または自宅の安全が確認できるまでは、屋外の安全な場所へ避難する。
- ・ 倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出をする。
- ・ 火災発生時の消火活動をする。
- ・ けが人の救護をする。



● 2次災害に気をつける

- ・ 地震発生後数日間は、崩れそうな建物や河川・海・崖などに近づかないようにする。
- ・ 水道、ガス、電気、電話等ライフラインをはじめ、食糧の供給が途絶える可能性があるため、最低でも3日分、できれば1週間分は、家族でしのげるように、生活必需品や非常用品を備えておく。



出典：(一財)消防防災科学センター「災害写真データベース」

南海トラフ

南海トラフ地震とは、静岡県の駿河湾から日向灘まで延びる、南海トラフと呼ばれる海溝で、概ね100年～150年間隔で繰り返し発生してきたM8～M9クラスの大規模な地震です。

南海トラフ地震による震度分布

南海トラフ巨大地震が発生すると県内全域は強い揺れに襲われ、13市町が最大震度7、7市町村で最大震度6強、残りの6町村でも最大震度6弱になると想定されています。

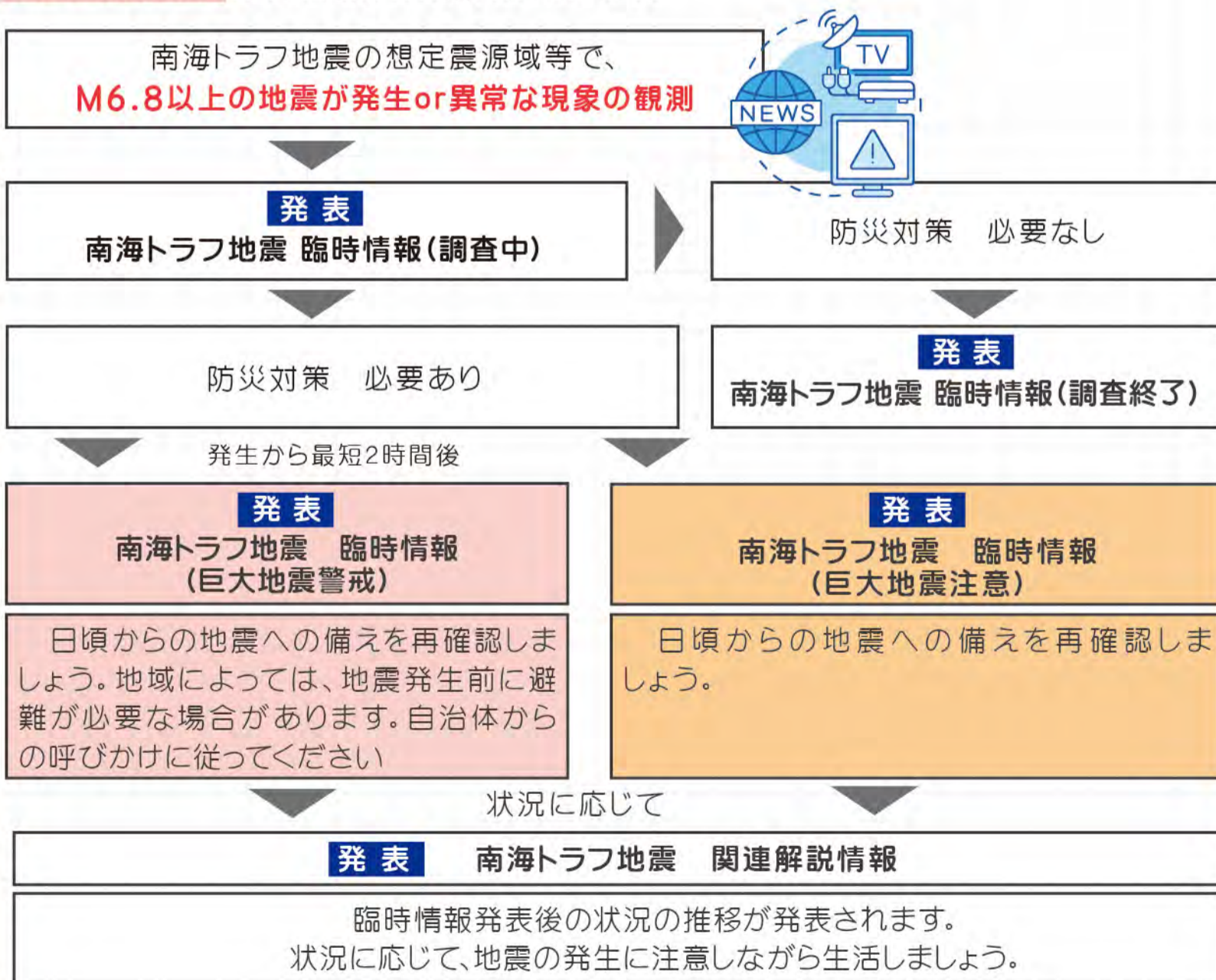
最大震度	市町村 宮崎県・津波及び被害の想定について(平成25年10月)より
震度7	宮崎市、延岡市、日南市、日向市、串間市、西都市、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
震度6強	都城市、小林市、えびの市、三股町、綾町、西米良村、美郷町
震度6弱	高原町、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

南海トラフ地震臨時情報

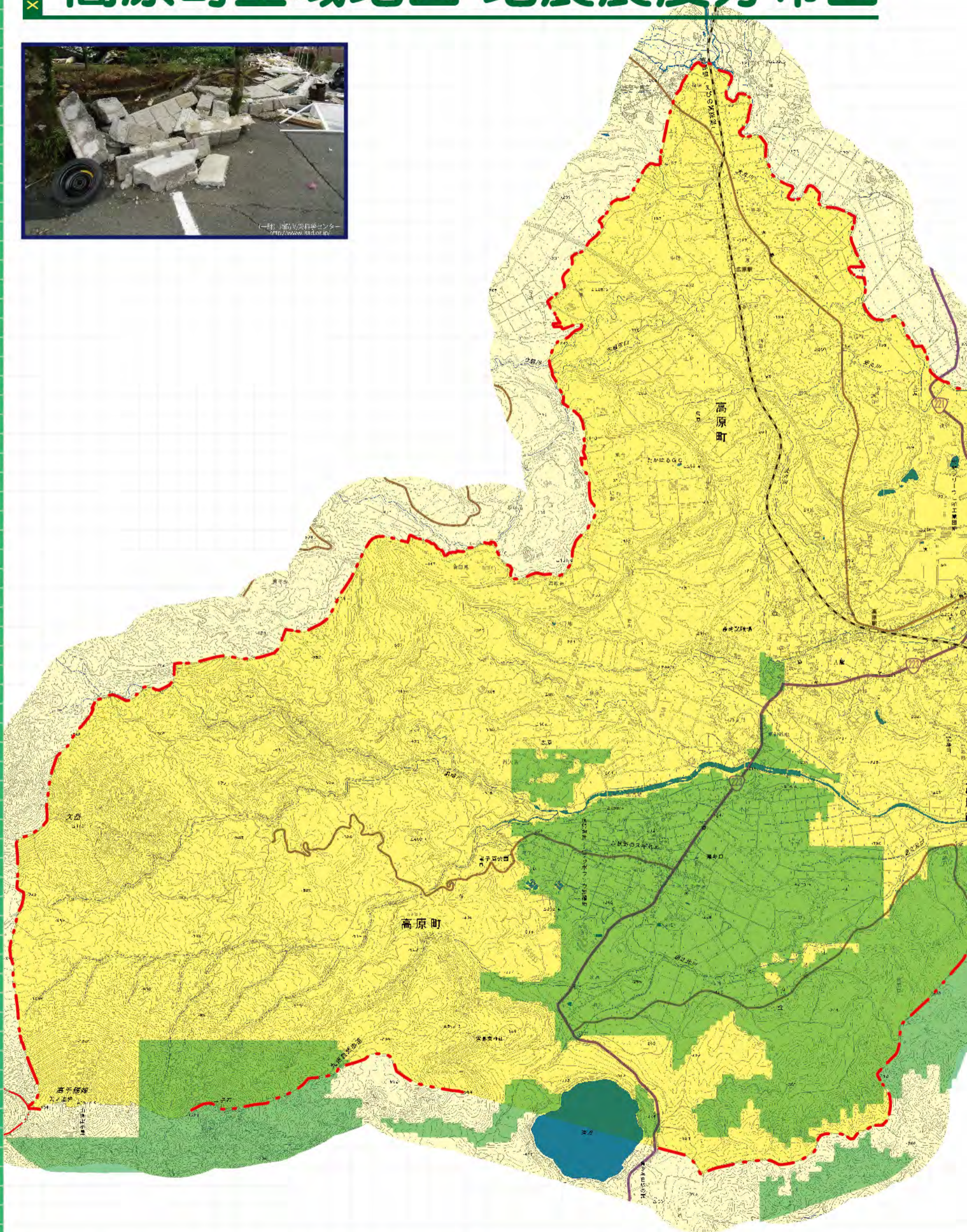
南海トラフ地震の発生の可能性が通常と比べて高まったと判断された場合、気象庁から「巨大地震警戒」、「巨大地震注意」などの「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。

町民の皆さんは、それぞれの情報に応じた防災対策をとりましょう。

ただし、異常な現象が発生せず、臨時情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもありますので、日頃からの備えが重要です。

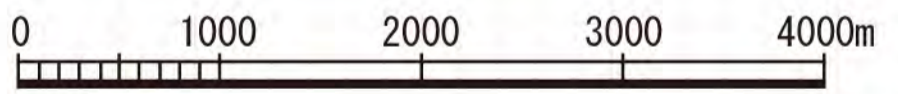
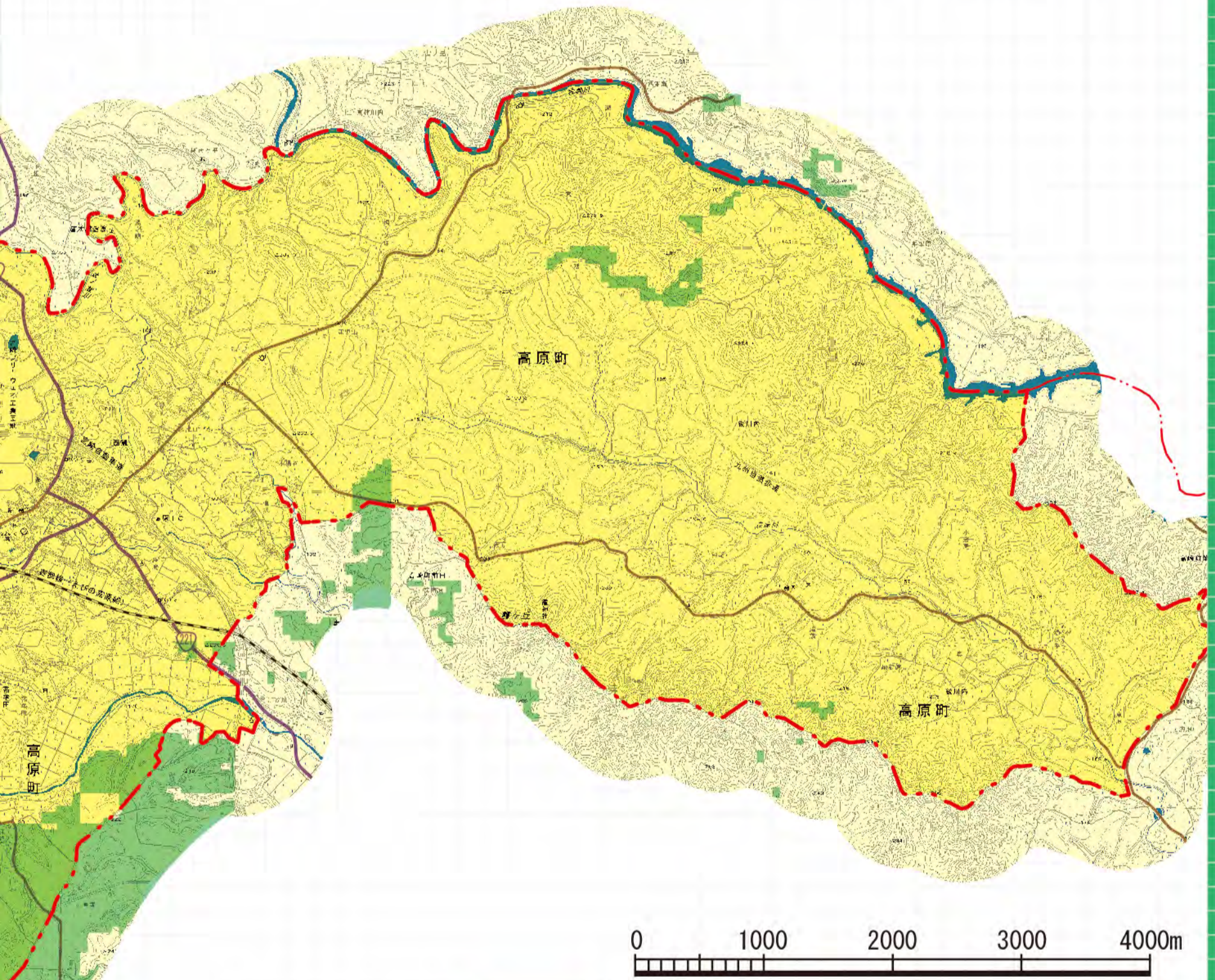


高原町全域地図 地震震度分布図





出典：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」



宮崎県地震想定 震度5強 震度6弱 市町境界

震度0 人は揺れを感じない。	震度5弱 棚の食器や本が落ち、家具が移動することがある。窓ガラスが割れ、弱い壁に亀裂が生じることがある。
震度1 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	震度5強 棚の多くのものが落ちる。タンスが倒れることがある。補強されていないブロック塀、据付の悪い自動販売機、墓石の多くが転倒
震度2 屋内では多くの人が揺れを感じ、眠っている人の一部は目を覚ます。吊り下げ物がわずかに揺れる。	震度6弱 立っていることが難しい、多くの家具が移動、転倒する。
震度3 屋内のほとんどの人が揺れを感じ、恐怖感を覚える人もいる。棚の食器類が音をたてることがある。	震度6強 立っていることができず、這っただけ動けない。家具のほとんどが移動、転倒する。
震度4 屋内ではかなりの恐怖感があり、眠っている人のほとんどが目覚ます。座りの悪い置物が倒れる。	震度7 人は自分の意志で動けない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

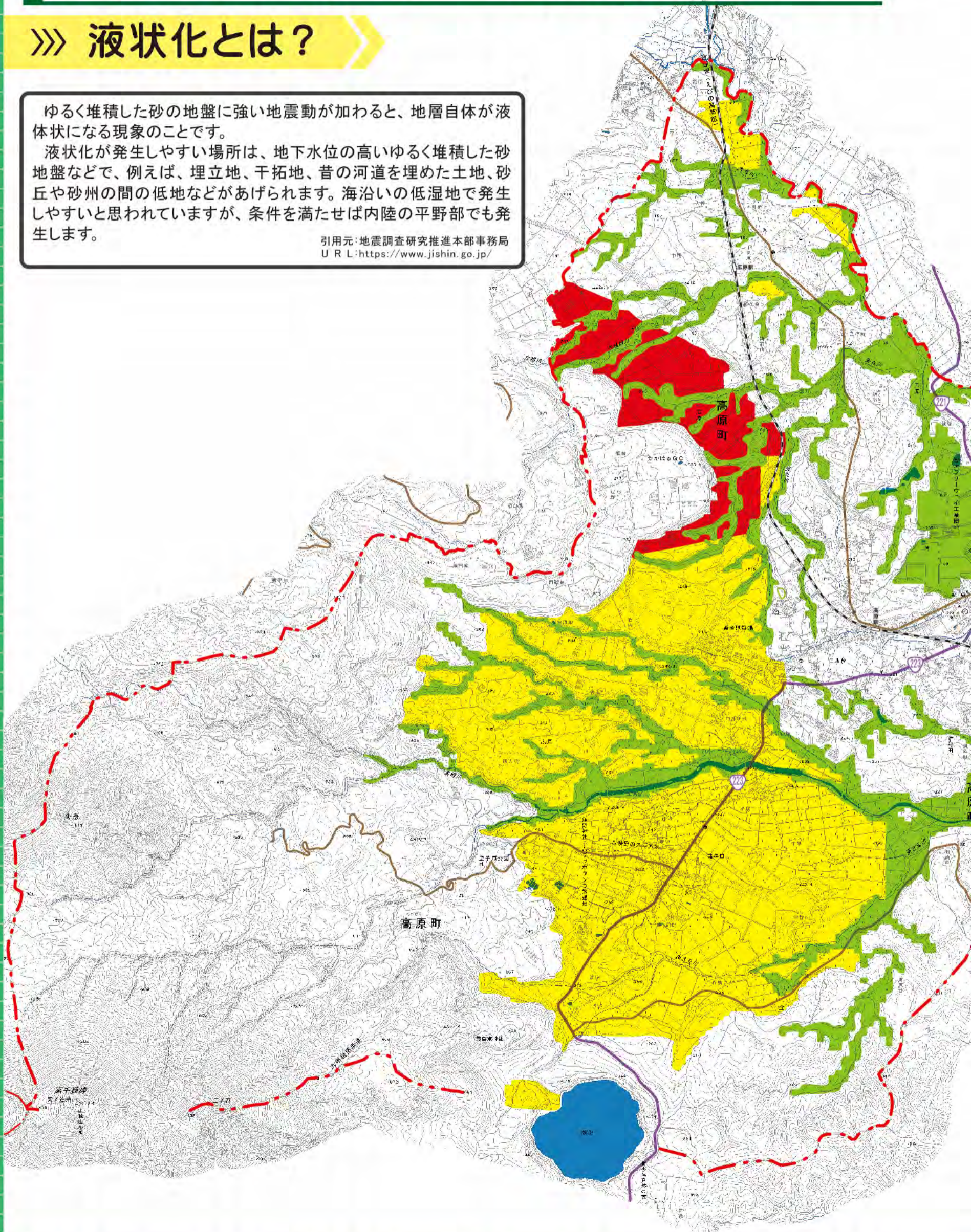
高原町全域地図 地震液状化図

液状化とは？

ゆるく堆積した砂の地盤に強い地震動が加わると、地層自体が液体状になる現象のことです。

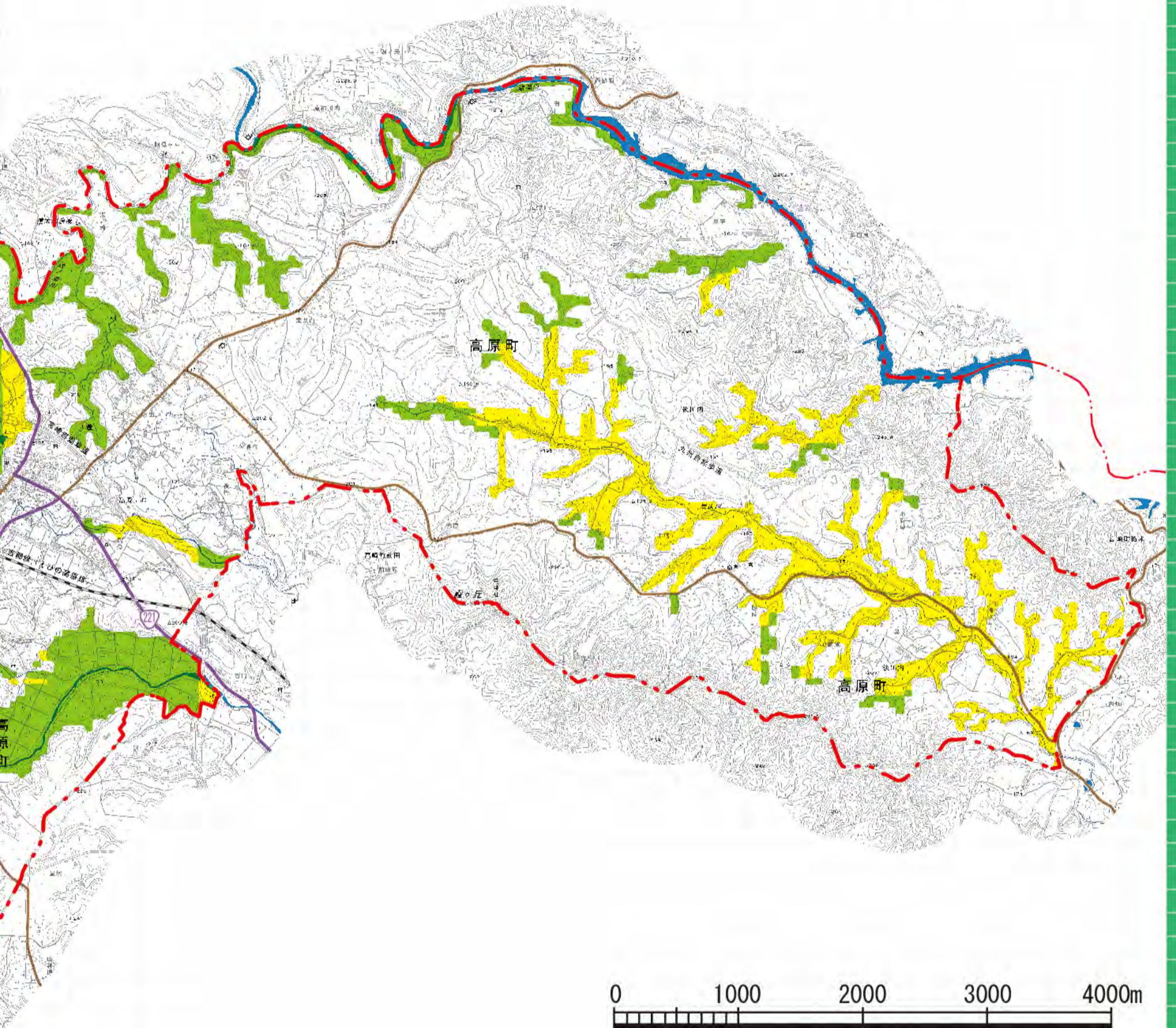
液状化が発生しやすい場所は、地下水位の高いゆるく堆積した砂地盤などで、例えば、埋立地、干拓地、昔の河道を埋めた土地、砂丘や砂州の間の低地などがあげられます。海沿いの低湿地で発生しやすいと思われていますが、条件を満たせば内陸の平野部でも発生します。

引用元：地震調査研究推進本部事務局
URL：<https://www.jishin.go.jp/>





出典：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」



宮崎県地震液状化想定液状化の可能性

凡 例 ■ 小 ■ 中 ■ 大

火山災害

霧島山(きりしまやま)は、過去に何度も噴火を繰り返し、今も活発に活動する国内有数の活火山です。

霧島山の火山活動についての最新情報に日頃から注意しつつ、このマップを活用して、噴火への備えを具体的に進めましょう。

火山活動に関する情報

噴火警報

- 気象庁は、全国の火山活動を対象に、危険範囲が火口内にとどまる場合には噴火予報、火口周辺に限られる場合には火口周辺警報、居住地域まで警戒を要する場合には噴火警報を発表しています。
- 41火山(平成30年5月現在)では、噴火警報・予報に付加して、「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対策」を5段階に区別した噴火警戒レベルが発表されます。霧島山では、「えびの高原(硫黄山)周辺」、「新燃岳」、「御鉢」、「大幡池」に噴火警戒レベルが設定されています。
- 霧島山周辺の市町は、噴火警報と噴火警戒レベルをもとに立入規制の範囲を定め、噴火警報(噴火警戒レベル4・5)が発表された場合には警戒範囲内の居住地域に「高齢者等避難・避難指示」を発令します。
- 登山前には、霧島山が噴火警戒レベルのどの段階にあるか、確認しておきましょう。



噴火警戒レベル

レベル1 活火山であることに留意
火山活動は静穏ですが、火口内では状況により生命の危険があります。

レベル2以上で、地元自治体から警戒区域が示され、登山者・観光客等の立入が規制されます。

注:レベル1であっても、火口周辺に立入規制区域が設定される場合がありますので、現地の指示に従ってください。

レベル2 火口周辺規制
火口周辺に生命の危険が及ぶ噴火が発生しているか、発生すると予想されます。

レベル3 入山規制
居住地の近くまで生命の危険が及ぶ噴火が発生しているか、発生すると予想されます。

- ・レベル4以上で、地元自治体から住民の高齢者等避難や避難が指示されます。
- ・早まる場合もありますので、地元自治体の指示に従ってください。

レベル4 高齢者等避難
居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まっています。

レベル5 避難
居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が切迫しているか、発生しています。

最新の火山情報を確認しましょう。

噴火警戒レベル引き上げの可能性がある場合などには、【火山の状況に関する解説情報(臨時)】が発表されます。登山など、霧島山に入る前には最新の火山情報を確認しましょう。



》》 噴火で想定される現象



出典：鹿児島地方気象台ホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/kagoshima/vol/photogallery/index.html>)

溶岩流

火口から斜面に沿って流下するマグマ体を溶岩(溶岩流)といいます。

低い場所を選んで流れ下り、通り道にある建物や樹木は焼かれ火事になることがあります。溶岩の流速は遅いため、落ち着いて避難することができます。

降灰

噴火によって火砕物が火口から巻き上げられ、地上に降下する現象を降灰といいます。

上空の風に乗って広範囲に拡散します。また、大量に降灰が生じ火砕物が堆積した場合には、農作物の被害や車が走れなくなるなど、生活に大きな影響を与えます。

降灰後の土石流

火山の噴火後、火山灰の降り積もった地域に雨が降ると土石流が発生しやすくなります。

通常の土石流よりも少ない雨で起こり、流下する速度が速いのが特徴です。噴火で積もった火山灰が原因ですので、噴火が終わってからも数年間は土石流の起きやすい状態が続きます。

火口湖決壊型火山泥流

積雪期の火山や火口湖では噴火と同時に大規模な泥流が発生することがあります。

大幡池や不動池で噴火が起きると火口湖が決壊し、大量の水が火山灰、石や土砂を巻き込みながら、流れ下ることがあります。

流れの勢いが強く、破壊力も大きいいため広範囲に被害が及ぶことがあり、特に注意が必要です。

噴石

噴火によって岩石が、火口から勢い良く上空に飛び出し、高速で地上に落下するものを噴石といいます。噴石はどの方向にも飛んでいき、火口に近いほど量が多く、サイズも大きくなります。

大きいものだと屋根に穴があき、熱いため火事になることもあります。

「こぶし」より小さい噴石は風に流されて4kmより遠くへ飛んでいきますので、風下側でも注意が必要です。

火砕流・熱風

高温の溶岩片、火山灰、火山ガスなどが混ざりあって、周囲に熱風を伴いながら斜面を高速に流下する現象を火砕流といいます。

火砕流は、高速で時速100km以上になることもあります。

また内部は高温な場合が多く、建物や動植物に破壊的な被害を与え、巻き込まれると大変危険です。

》》 登山の際には

登山時の注意点

- 登山前に最新の火山活動や気象についての最新情報をチェックしましょう。また、登山中も気象庁のHP等から情報収集を怠らないようにしましょう。
- **登山計画書(登山届)を必ず提出しましょう。***
- **緊急速報メール等を受信できるように携帯電話の電源を入れておきましょう。**
- **携帯電話の不感地帯が多いため、ラジオを携帯して情報収集に努めましょう。**
- ヘルメットなどの安全装備を着用・持参して登山しましょう。
- 噴気孔や噴気地帯の窪地など危険な場所には、絶対に立ち入らないでください。
- 異常を発見した場合には速やかに下山し、関係市町が警察又は消防に連絡しましょう。
- 噴火時は、**山小屋や岩陰などに一時避難し、噴火が収まったら直ちに下山しましょう。**



※1 全国オンライン登山届け

【コンパス】

登山計画を作成していただくツールとして、登山前や登山中、そして次の山行の備えに役立つサービスを提供します。



新燃岳に噴火警報が発表された場合

新燃岳 噴火警戒レベル2~3における立入規制範囲

噴火警戒レベル2 (火口周辺規制)

火口から概ね2km以内に大きな噴石や火砕流が流下するような噴火が予想されます。このため、火口から約2km、火山活動の状況により概ね1km以内への立入が規制されます。

※警戒が必要な範囲は火口から概ね2km、火山活動の状況により概ね1kmとなります。

<過去の事例>

2008年8月20日、2010年12月5日、
2017年10月6日：火山性地震の増加
<2008~2011年噴火の事例>
2010年7月10日：火砕サージが約300m流下

噴火警戒レベル3 (入山規制)

火口から概ね2kmを超え4kmまで大きな噴石の飛散や火砕流、溶岩流が流下するような噴火が予想されます。

※警戒が必要な範囲は火口から概ね3km、火山活動の状況により概ね4kmとなります。

<2008~2011年噴火の事例>

2011年1月19日：霧島山を挟むGNSSの基線が伸びていた中で、火山灰に新鮮なマグマ物質が含まれる噴火が発生
2011年2月1日：大きな噴石が火口から約3.2kmまで飛散

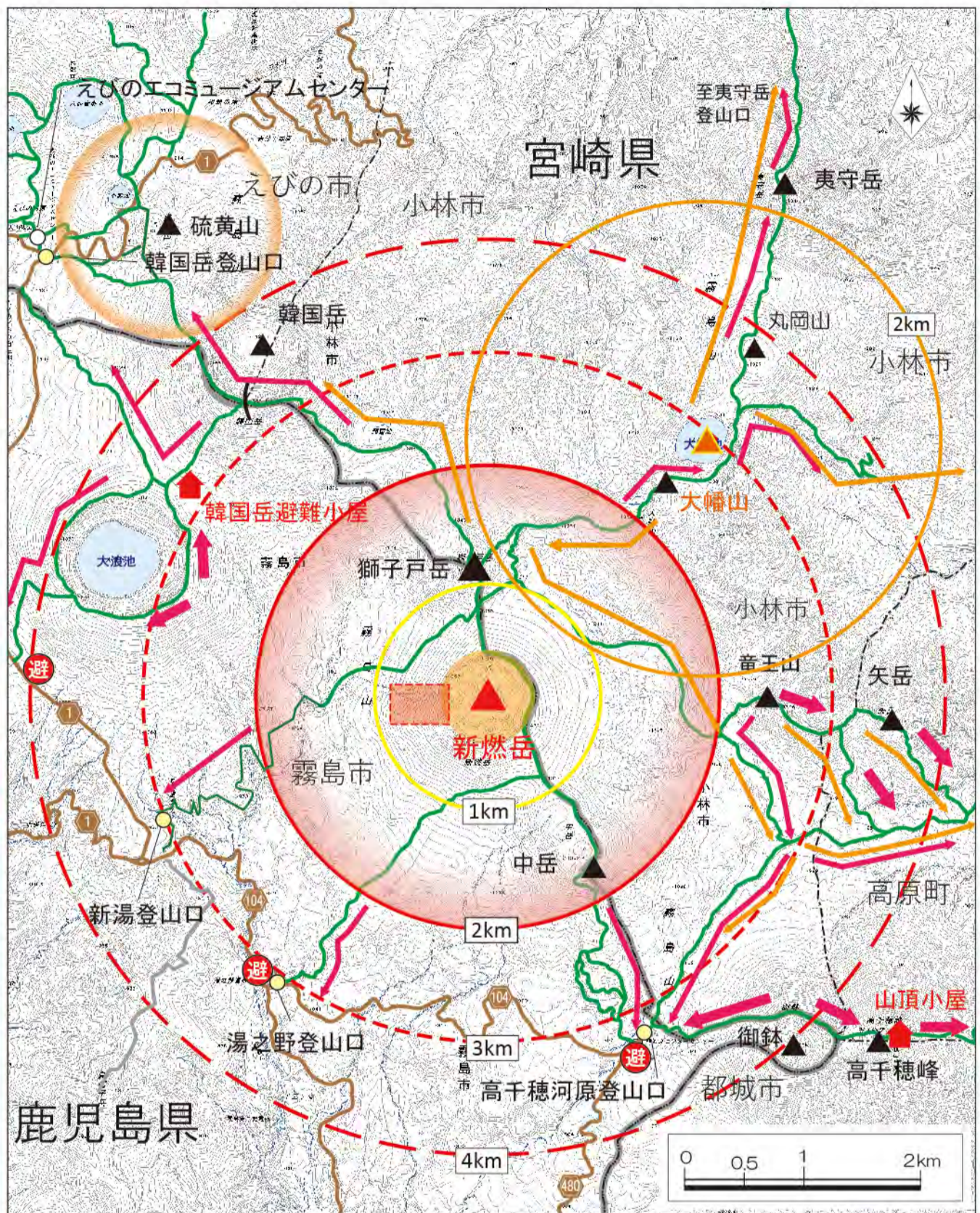
注)ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散する直径約50cm以上の大きさのものを指します。

火砕流や熱風にご注意下さい。

火砕流は、火山灰や軽石、岩石が空気と一緒に流れ下る現象です。内部は高温な場合が多く、建物や動植物に破壊的な被害を与え、巻き込まれると大変危険です。

また、水蒸気噴火の際は、100℃を少し上回る噴煙が流れ下ってくる可能性があります。このような噴煙でも、直接吸い込むと肺を損傷する可能性があり大変危険です。

- ◆火砕流・熱風から身を守るために
- ・噴火に遭ったら、**火口から離れる方向へ避難**しましょう。ただし、火砕流などは谷筋に沿って流れてきますので、**谷筋や窪地には行かない**ようにしましょう。
- ・気象庁が発表する火山情報を確認し、**自治体の立入規制を遵守**しましょう。



凡例	: 新燃岳	: 登山道	: 噴火警戒レベル2の立入規制範囲(概ね2km) (火山活動の状況により概ね1km となります)
	: 大幡池	: 県境	: 噴火警戒レベル3の立入規制範囲(概ね3km) (火山活動の状況により概ね4km となります)
	: 火口	: 市町村界	: 大幡池火口周辺警報における立入規制範囲(概ね2km)
	: 新燃岳西側斜面の割れ目付近	: 避難壕	: 【新燃岳】が噴火しそうな時や噴火が始まった時に避難すべき方向の一例
	: 国道	: 【大幡池】が噴火しそうな時や噴火が始まった時に避難すべき方向の一例	

注意: 各噴火警戒レベルにおける登山道規制箇所および道路規制箇所は現地での表示に従ってください。

火口湖決壊型火山泥流にご注意下さい。

大幡池や不動池で噴火が起きると火口湖が決壊し、大量の水が火山灰、石や砂を巻き込みながら、流れ下ることがあります。

流れの勢いが強く、破壊力も大きいので広範囲に被害が及ぶことがあり、特に注意が必要です。

小林市方面では、生駒高原から**巢の浦川**沿いに宮崎自動車道を越えて流れ下る可能性もありますので、流域の方は十分注意して下さい。

高原町方面では、矢岳の北側から**高崎川**沿いに中平農農道を越えて流れ下る可能性もありますので、流域の方は十分注意して下さい。

御鉢に噴火警報が発表された場合

噴火警戒レベル2~3における立入規制範囲

噴火警戒レベル2 (火口周辺規制)

火口から概ね1km以内に大きな噴石が飛散することが予想されます。
 このため、火口から1km以内への立ち入りが規制されます。
 ※高千穂河原まで、火口から約1.2km
 <過去の事例>
 2003年12月：火山性微動、噴気活動活発
 1923年7月：噴火
 1899年7月、10月：黒煙噴出
 1896年3月：噴火

噴火警戒レベル3 (入山規制)

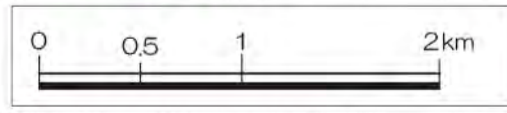
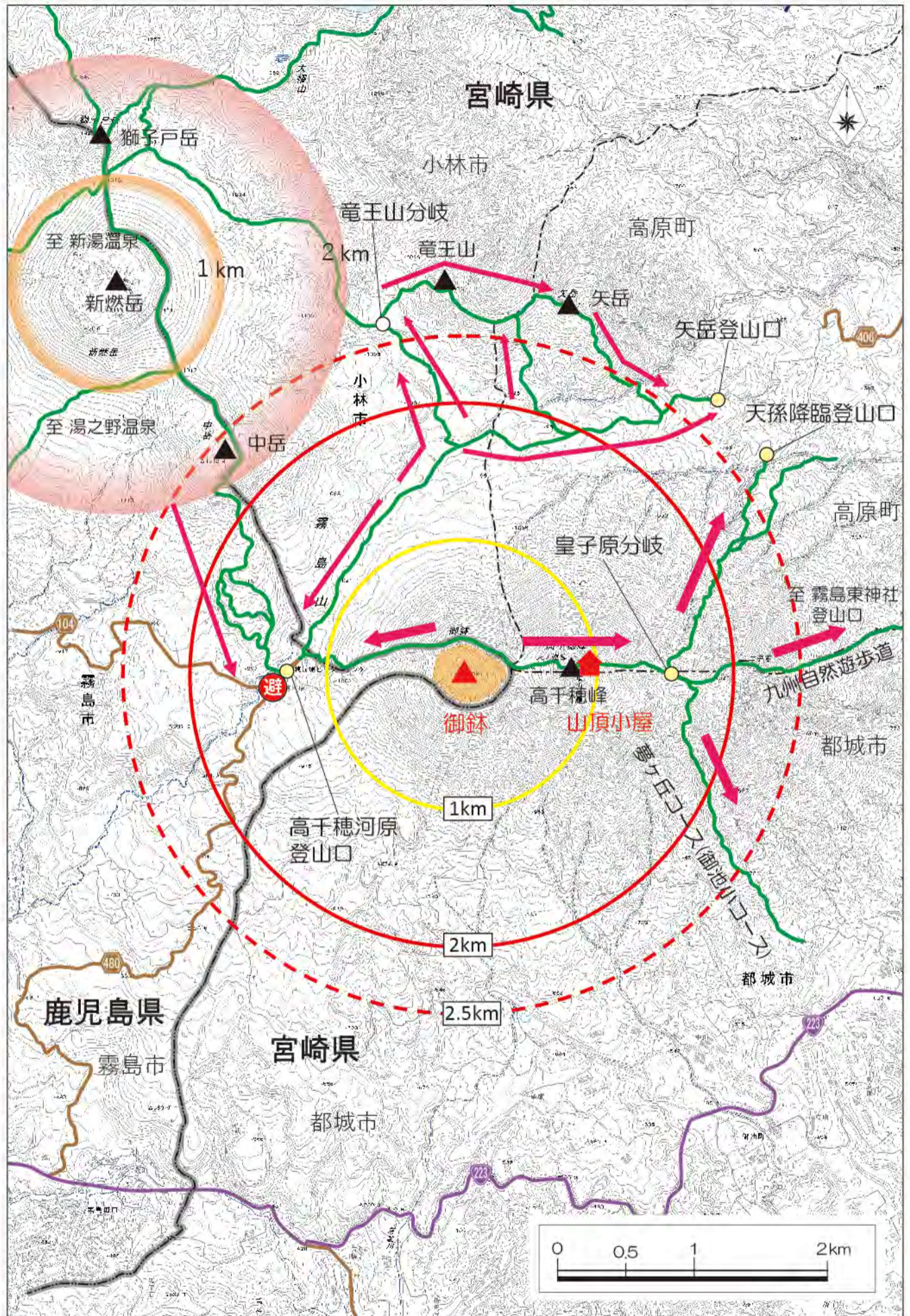
火口から概ね2.5km以内に大きな噴石の飛散や火砕流が到達する可能性があります。
 このため、火口から2~2.5km以内への立ち入りが規制されます。
 ※活動初期及び活動期は概ね2.5km以内立入禁止。
 ※活動安定期は概ね2km以内立入禁止
 <過去の事例>
 1900年2月16日：約1.8kmに噴石飛散
 1895年10月：約2kmまで噴石飛散

注)ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散する直径約50cm以上の大きさのものを指します。

こぶしより小さな噴石にもご注意ください。

噴石は、直径数cmから数mのものまであり、風向きに関係なくどの方向にも飛んでいきます。
 「こぶし」より小さい噴石は、風に流されて4kmより遠くへ飛んでいきます。
 直径数cm程度の小さなものでも、高い空から落ちてくるため、体にあたると致命傷となりとても危険です。

- ◆ 噴火から身を守るために
- ・ 噴火に遭ったら、**火口から離れる方向へ避難**しましょう。
- ただし、火砕流などは谷筋に沿って流れてきますので、**谷筋や窪地には行かない**ようにしましょう。
- ・ 噴火の規模や火口からの距離にもよりますが、**建物や立木、岩陰などに隠れることも有効**です。



凡例	▲	: 御鉢	—	: 登山道	避	: 避難壕	○	: 噴火警戒レベル2の立入規制範囲(概ね1km)
	●	: 火口(御鉢)	—	: 県境			○	: 噴火警戒レベル3の立入規制範囲(概ね2km)
	—	: 県道・主要地方道	---	: 市町村界			○	: 噴火警戒レベル3の立入規制範囲(概ね2.5km)
	○	: 新燃岳から概ね1kmと概ね2kmの範囲	→					: 噴火しそうな時や噴火が始まった時に避難すべき方向の一例

注意：各噴火警戒レベルにおける登山道規制箇所および道路規制箇所は現地での表示に従ってください。
 ※：噴火警戒レベル4・5における情報は、附図「高原町防災マップ(全体図)」をご覧ください。

大幡池に噴火警報が発表された場合

噴火警戒レベル2~3における立入規制範囲

噴火警戒レベル2 (火口周辺規制)

小噴火が発生し、火口から概ね2km以内に大きな噴石が飛散することが予想されます。このため、大幡池から2km以内への立ち入りが規制されます。

<過去の事例>

約6,500~7,000年前の水蒸気噴火(大幡山):大きな噴石の到達距離は不明

噴火警戒レベル3 (入山規制)

噴火が発生し火口から概ね2kmを超え概ね4km以内に大きな噴石の飛散、または火口から概ね1kmを超え概ね3km付近まで火砕流、概ね4km付近まで溶岩流の到達が予想されます。

このため、大幡池から3km以内、火山活動の状況により4km以内への立入が規制されます。

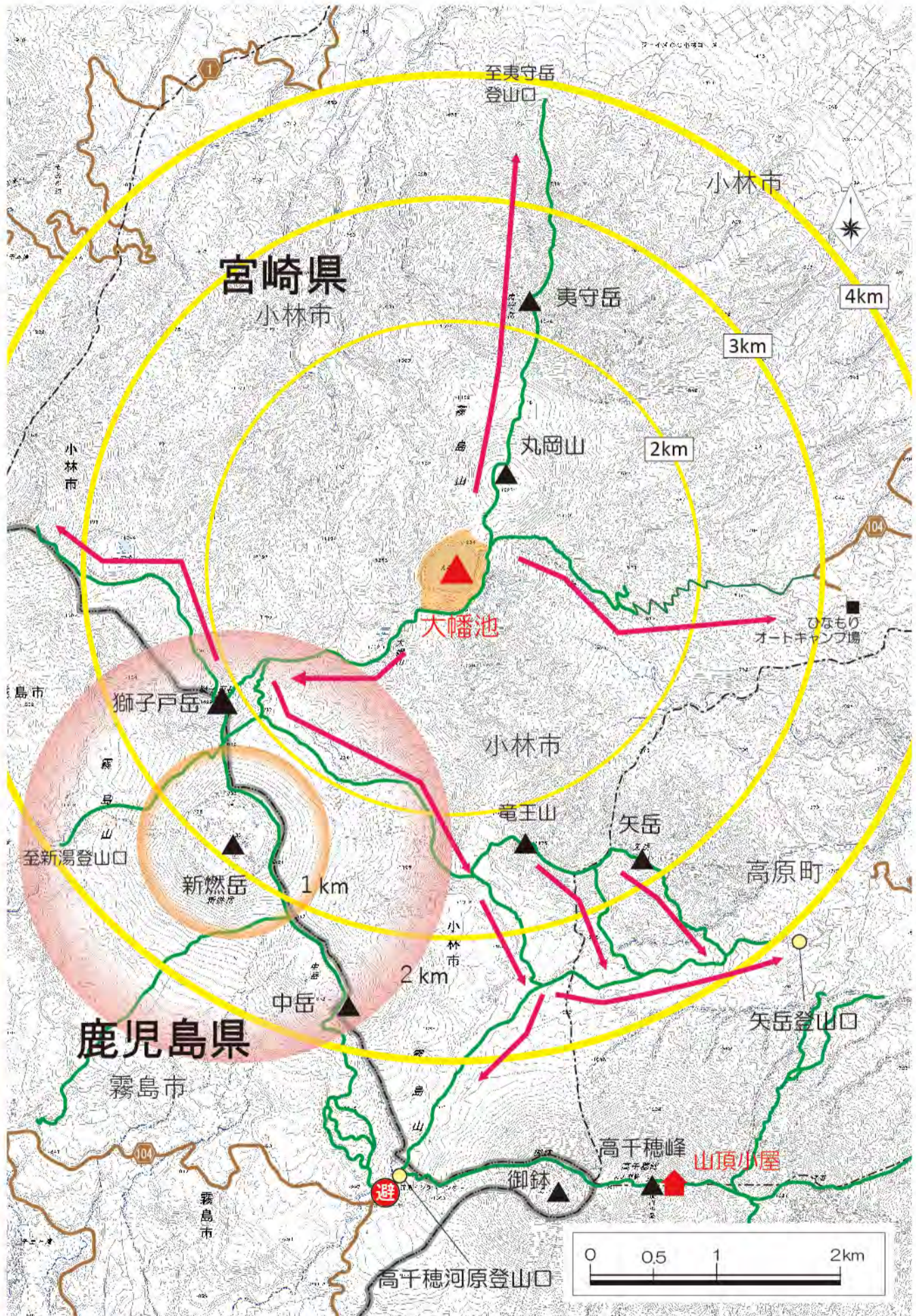
火口湖決壊型火山泥流 にご注意ください

大幡池や不動池で噴火が起きると火口湖が決壊し、大量の水が火山灰、石や砂を巻き込みながら、流れ下ることがあります。

流れの勢いが強く、破壊力も大きいので広範囲に被害が及ぶことがあり、特に注意が必要です。

小林市方面では、生駒高原から巢の浦川沿いに宮崎自動車道を越えて流れ下る可能性もありますので、流域の方は十分注意して下さい。

高原町方面では、矢岳の北側から高崎川沿いに中平農免農道を越えて流れ下る可能性もありますので、流域の方は十分注意して下さい。



凡例	: 大幡池	: 登山道	: 噴火警報<入山危険>時の立入規制範囲(kmごと)
	: 火口(大幡池)	: 県境	: 新燃岳から概ね1kmと概ね2kmの範囲
	: 国道	: 市町村界	: 噴火しそうな時や噴火が始まった時に避難すべき方向の一例
	: 県道・主要地方道	: 避難壕	各噴火警戒レベルにおける登山道規制箇所および道路規制箇所は現地での表示に従ってください。

※: 噴火警戒レベル4・5における情報は、附図「高原町防災マップ(全体図)」をご覧ください。

火山災害 学習

火山噴火の特徴って何？

- Point 1 火山噴火がおこると、直径50センチ以上の大きな噴石が落ちてくることがある。
- Point 2 火山噴火では、高温の火山灰や岩塊等が一体となった火砕流が駆け下りてくることがある。
- Point 3 大地震は火山噴火を誘発する可能性があり、数年たってから噴火するケースもある。
- Point 4 火山灰は数百キロメートル先まで飛ぶことがある。



火山灰がふってきたら？

火山が噴火すると、噴石と呼ばれる石のほかにも、細かい火山灰等が噴出され、数十、数百キロメートル以上も遠くまで飛ぶことがあります。

降灰期間中、家庭では、ガス湯沸かし器やエアコン等、外気にさらされる電化製品は使用せず、火山灰が入らないようにラップフィルムをするなどして、対策を取りまひよう。

また火山灰は、呼吸器系への影響、目の症状、皮膚への刺激等、健康にも影響を与えます。

鼻やのどの炎症、ぜんそく、目の異物感・かゆみ・充血、皮膚の痛み・腫れ等を防ぐためにも、事前にマスクやゴーグル、タオル、長袖・長ズボン等を身に着けるようにしまひよう。

さらに、火山灰を排水溝や下水、雨水管に流すと、排水管が詰まり、下水処理施設を痛めてしまうおそれがあるため、適切な処理が必要です。



MEMO

火災・消防

初期消火の3原則

01 早く知らせる

- ・「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。
声が出なければヤカンなどを叩き、異変を知らせる。
- ・小さな火でも119番に通報する。
当事者は消火に当たり、近くの人に通報をお願いする。

02 早く消火する

- ・出火から3分以内が消火できる限度。
- ・水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近なものを活用する。

03 早く逃げる

- ・天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- ・避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。



火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火しましょう。

ストーブ

大きなバケツ一杯分くらいの大量の水を真上から勢いよく一気にかける。
濡れシーツを上から覆うようにかぶせる。または、毛布をかぶせて、その上から水をかけましょう。

衣類

着衣に火がついたら、地面に倒れ込み、燃えているところを地面に押し付けるように左右に転がって消火させます。そのさい両手で顔を覆うようにして顔のやけどを防ぎましょう。
(ストップ、ドロップ&ロール方式)

風呂場

風呂場からの出火に気づいた場合、いきなり戸を開けると、火勢が強まる危険があります。

消火器や水を用意して、ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火しましょう。

電気製品

いきなり水をかけると感電する危険があります。

まずコードをコンセントから抜くこと。出来ればブレーカーも切ってから消火しましょう。

カーテン・ふすま

天井まで燃え広がる前に水や消火器で消火しましょう。

間に合わなければカーテンはレールから引きちぎり、ふすまや障子は蹴り倒して消火しましょう。

消火器の使い方 (粉末・強化液消火器の場合)



初期の火災(屋内であれば、だいたい天井に炎が達する前まで)の場合、私たちでも消火を行うことができます。

いざというときに備えて消火器の使い方を知っておきましょう。

STEP 1

安全ピンに指を
かけ上に引き抜く



STEP 2

ホースを外して火
元に向ける



STEP 3

レバーを強く握って
噴射する



救急

AED



AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

また、心臓の動き(心電図)を自動解析し、電気ショックが必要な方にのみ電気ショックを流す仕組みになっています。

AEDは、心停止でない人に電気ショックをすることはありません



AEDの使い方

AEDにはいくつかの種類がありますが、基本的な操作手順は変わりません。



電源ボタンを押す



2枚のパッドを素肌に貼り付ける



音声メッセージに従い電気ショックの必要の有無を待つ



AEDが必要と判断した場合は、周囲の人の安全を確認して電気ショックボタンを押す

もしものときの救急車の利用法 (救急車が必要なのはどんなとき?)



地域の限られた救急車を有効に活用し、緊急性の高い傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにするために、救急車の適時・適切な利用が必要で

高齢者

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

手・足

- 手足が硬直している
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おとな

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざる、または、真っ黒い便が出る

手・足

- 手足が硬直している
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

子ども(15歳以下)

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手・足

- 手足が硬直している

総務省消防庁
【救急車を上手に使いましょう】

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>



自主防災組織

平常時と災害時における自主防災組織の役割としては、次のようなことが考えられます。いざというときに組織力を発揮できるよう、平常時からみんなで協力し合いながら防災活動に取り組みましょう。

平常時の活動

○ 地域内の防災点検

災害発生時に、地域内に被害の拡大につながる要素はないか、また、避難行動要支援者がいないかなど確認を行う。

○ 防災訓練の実施

負傷者の応急手当て、救護所への搬送など災害を想定した防災訓練（避難訓練、図上訓練、消火器の使用方法や応急手当訓練など）を実施する。

○ 防災知識の普及

防災ガイドブックの作成など、住民一人ひとりの防災意識の高揚を図る。

○ 防災資機材の整備

災害発生時に必要とされる資機材を、地域の実情に応じて準備し、定期的に点検や使用方法の確認を行う。



災害時の活動

○ 情報の収集・伝達

自治体などと連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達する。

○ 初期消火活動

出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、バケツルーなどによる初期消火活動など。

○ 救出活動

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動など。

○ 医療救護活動

負傷者の応急手当て、救護所への搬送など。



要配慮者を災害から守る

○ 要配慮者との交流を密にする

日頃から近隣に住む要配慮者とあいさつを交わすなど交流を深めておく。また、プライバシーや本人の意思などに配慮しながら、支援のニーズを聞いておく。

○ 要配慮者を把握する

「避難行動要支援者名簿」等を参考に、要配慮者の把握、共有等を進めておく。

○ 要配慮者の視点でまちなかを点検する

避難路は車いすで通れるか、障害物がないかなど、要配慮者を安全に避難誘導できるよう、確認する。

○ 防災訓練への参加を促す

要配慮者の方に防災訓練に参加してもらう。その際に、安否確認や避難誘導など、具体的な支援体制を決めておく。



※ 要配慮者とは、高齢者・障がい者・乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方を指しています。

※ 平成25年6月に災害対策基本法が改正され、これまでの「災害時要援護者」を「要配慮者」とし、要配慮者のうち、自ら避難することが困難で特に支援を要する方を「避難行動要支援者」と言います。

避難の際の心得・避難所でのマナー

≫≫ 避難の際の心得

発生する災害種別に対して立ち退き避難が必要な場合は、町が指定した災害に対応した指定緊急避難場所への避難や、安全な場所にある親戚・知人宅への避難が考えられます。

既に周辺で災害が発生している場合など、立ち退き避難がかえって命の危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合は、「近隣の安全な場所」への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「緊急安全確保」を行いましょう。

近隣の安全な場所

指定緊急避難場所ではないが、近隣のより安全な場所・建物等や、安全な場所にある親戚・知人宅への避難を検討。

緊急安全確保

その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動。

既に周辺で災害が発生している場合など、立ち退き避難がかえって危険な場合は、近隣の安全な場所や建物のより安全な部屋へ移動。

避難時の注意点

- ・最新の災害情報をラジオ等で入手する
- ・隣近所へ声をかける
- ・車での避難は特別な場合を除き控える
- ・橋や川の近くは避ける
- ・防災責任者の指示に従う
- ・動きやすい服装で避難する
- ・二人以上の集団で行動する
- ・できるだけ浸水していない場所を歩く

≫≫ 避難所でのマナー

避難所では限られたスペースでの共同生活となりますので、マナーやルールを守り、避難者同士のプライバシーを尊重しながら、譲り合いの心をもって助け合い、協力、配慮などが必要です。

Point 1 周囲への心配り

自分がされたくないことをしないよう、周りの方への心配りをしましょう。



Point 5 要配慮者への気配り

お年寄りや体の不自由な方など、要配慮者への気配りを心がけましょう。



Point 2 助け合い

困った人がいたら積極的に助けましょう。



Point 6 衛生面にも注意

みんなが使う場所は定期的に清掃をして清潔に保ちましょう。



Point 3 ルールや役割を守る

避難所内で決められたルールや役割は守りましょう。



Point 7 惑わされない

うわさやデマに惑わされないようにしましょう。



Point 4 感染症の予防

手洗い・咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底しましょう。



Point 8 ペットの飼育管理

地域の避難所がペットとの同行避難が可能かどうかをあらかじめ確認し、避難所のルールを守りましょう。



避難所一覽

(指定一般避難所)

NO.	件名	所在地	建物名称	収容可能人数
1	高原中学校	高原町西麓709-144	校舎(普通教室棟)	126
			校舎(特別管理棟)	
			校舎(特別教室棟)	
			室内運動場	188
2	高原小学校	高原町西麓340	校舎1	55
			校舎2	
			管理棟・特別教室	62
			屋内運動場	
3	広原小学校	高原町広原1472	校舎1	23
			校舎2	
			特別活動室(家庭科室)	107
			屋内運動場	
4	総合保健福祉センターほほえみ館	高原町西麓360-1	総合保健福祉施設	87
			大研修ホール	36
5	高原町教育集会所	高原町大字西麓1552-1	集会所	15
6	常盤台活性化センター	高原町大字広原5993-7	集会所	11
7	出口農業構造改善センター	高原町大字西麓2885	公民館	18
8	鹿児島山農業構造改善センター	高原町大字西麓4401-5	公民館	13
9	越農業構造改善センター	高原町大字西麓4274-4	公民館	10
10	蒲牟田活性化センター	高原町大字蒲牟田2909	公民館	19
11	湯之元集落センター	高原町大字蒲牟田4901-2	公民館	16
12	下広原構造改善センター	高原町大字広原3432	公民館	18
13	西広原活性化センター	高原町大字広原644-4	公民館	15
14	上広原多目的活動施設	高原町大字広原2072-5	公民館	15
15	上後川内多目的活動施設(農村公園)	高原町大字後川内2903	公民館	15
16	下後川内多目的活動施設	高原町大字後川内4203-1	公民館	13
17	身障者共同作業所	高原町西麓868-2	作業所	10
18	並木公民館	高原町大字蒲牟田1158-1	公民館	39

感染症対策

災害が発生した場合の避難所では、密閉した空間の中での集団生活等により、さまざまな感染症のリスクが高まる恐れがあります。

少しでも避難所での感染リスクを下げる為に平時から準備をしておきましょう。

≫≫ 避難所への避難行動

📝 ウイルス感染者の避難について

ウイルス感染者で自宅待機中に、避難の必要がある場合は、まず保健所や役場に連絡し、対応を仰ぎます。

※ウイルス感染者が自宅にいる家族についても同じです。

📝 避難場所の検討

災害の発生時に、避難所が過密状態になることを防ぐために、可能な場合は、親戚や知人の家、ホテル、旅館などへの避難も検討が必要です。

※感染症拡大下でも避難行動は必要です。

📝 避難所へ避難する場合は

町も感染対策に必要な物資の配備に努めますが、備蓄品には限りがありますので、ご自身やご家族の健康衛生管理に必要と思われるものは、可能な限り持参してください。

【持参する物の例】

・マスク・常備薬・体温計・使い捨ての手袋・消毒液



📝 避難所で体調を崩したらすぐに避難所の責任者に報告

ちょっとした体調が、おかしいと思ったらすぐに避難所の責任者に報告し指示を仰ぎましょう。

もしウイルスが蔓延すれば、他の避難者に迷惑を掛けてしまいます。身体の弱い方に移してしまうと、その人は症状が重くなってしまう可能性もあります。

≫≫ 避難所での感染症対策

- 1) マスクをつける
- 2) アルコールでこまめな手指消毒
- 3) 食事中のおしゃべりは控える
- 4) 体温を毎朝はかり記録する 体温計はアルコールで拭く
- 5) 熱があったら病院へ
- 6) 1時間に2回以上換気する 向かい合う2ヶ所以上の窓を開ける
- 7) 家族ごとの距離をできるだけあける(最低2メートル)



マイ・タイムライン

》》 マイ・タイムライン作成の準備

📝【ハザードマップポータルサイト】や【高原町防災マップ】でチェック

ハザードマップ
ポータルサイト



- ✎ あなたの住んでいる場所は土砂災害警戒区域等に該当しますか？
はい いいえ
- ✎ あなたの住んでいる場所は、地震液状化想定区域等に該当しますか？
はい いいえ
- ✎ あなたの住んでいる場所は、噴火警報発表時の規制区域および降灰の影響範囲に該当しますか？
はい いいえ
- ✎ 避難所・避難先は把握していますか？
はい いいえ
- ✎ あなたが避難する場所までのルートを考えてことはありますか？
はい いいえ
- ✎ 地域(職場・学校など)の防災訓練に参加されていますか？
はい いいえ

📝 家庭の状況チェック

- ✎ 車 なし あり (____)台
- ✎ ペット なし あり (_____)
- ✎ 持病薬 なし あり(_____)
- ✎ 非常持ち出し品と備蓄品の準備 なし あり(_____)
- ✎ 避難に支援が必要な人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)
なし あり(_____)

📝 タイムラインについての参考URL

お手持ちのスマートフォンやパソコンで確認してみましょう。

🔍 マイ・タイムライン

住民一人ひとりの単位で、事前の計画等の充実を促すためのものです。

国土交通省 マイ・タイムライン [検索](#)



🔍 岡谷さんのマイ・タイムライン

要配慮者向けのマイタイムライン情報を提供しています。

岡谷さんのマイ・タイムライン [検索](#)



マイ・タイムラインシート

家族構成	人（一緒に避難： 人）	自宅の災害リスク <small>※1</small>
------	-------------	----------------------------

※1 防災マップ等で自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。

	避難先の名称（施設など） <small>※2</small>	移動時間
避難先 1		分
避難先 2		分
避難先 3		分
避難先 4		分

※2 避難所一覧（P30）で避難先の場所を確認しましょう。

わたしと家族の避難行動

本書を読んで考えた「避難行動やその準備」を警戒レベルに応じて記入しましょう。

	【避難訓練】	訓練に参加
平時の備え	【防災情報】	
	【避難準備】非常持ち出し品チェック（P3）品を準備	
	【その他】	
警戒レベル 1	(2~3日前)	早期注意情報（警報級の可能性） <small>（記入例）備蓄品の確認と補充</small>
警戒レベル 2	(気象状況が悪くなる)	大雨・洪水注意報 / 氾濫注意情報 <small>（記入例）気象情報とマイ・タイムラインを確認</small>
警戒レベル 3	大雨・洪水警報 / 氾濫警戒情報 / ()	高齢者等避難 <small>（災害のおそれあり） （記入例）警戒レベル4が深夜になるときは避難開始</small>
警戒レベル 4	土砂災害警戒情報 / 氾濫危険情報 / ()	避難指示 <small>（災害のおそれ高い） （記入例）避難したことを家族に連絡</small>
警戒レベル 5	大雨特別警報、氾濫発生情報 / ()	緊急安全確保
(発生後)	★もし、避難できていない場合は、緊急的に安全を確保できる場所や建物の2階以上に移動	

防災情報の収集

》》 防災情報

📄 インターネット関連情報

🔍 キキクル

[キキクル 気象庁](#) [検索](#)

気象庁が公開している危険度分布の無料情報サイトのことで、雨による災害の危険度を地図で簡単に確認できます。



🔍 ハザードマップポータル

[ハザードマップポータル](#) [検索](#)

国土交通省が運営する、「ハザードマップポータルサイト」です。身の回りでどんな災害が起こりうるのか、調べることができます。



🔍 宮崎県の雨量・河川水位観測情報

[宮崎県の雨量・河川水位観測情報](#) [検索](#)

宮崎県県土整備部が観測している雨量・水位・河川監視カメラの情報を提供しております。



🔍 宮崎地方気象台

[宮崎地方気象台](#) [検索](#)

気象情報・注意報・台風・洪水・土砂災害などの防災気象情報を確認することができます。



🔍 宮崎県土砂災害危険度情報

[宮崎県土砂災害危険度情報](#) [検索](#)

宮崎県が提供している土砂災害に関する情報を確認することができます。



📄 アプリ関連情報

🔍 Yahoo!防災速報

[Yahoo!防災速報](#) [検索](#)

Yahooが豪雨情報など様々な災害情報をプッシュ通知でお知らせしてくれます。



🔍 NHK防災アプリ

[NHK 防災アプリ](#) [検索](#)

自治体が出す避難情報やNHKが取材したライフライン情報なども掲載しています。



📄 テータ放送関連情報

🔍 dボタン

テレビのリモコンで【dボタン】を押すと最新のニュースや天気、防災など暮らしに役立つ情報を見ることができます。

※リモコンのメーカーによりdボタンの位置は異なります。



📄 高原町メールサービス

[高原町メールサービス](#) [検索](#)

メール等にて**気象情報、防災情報、イベント・観光情報、防犯情報**などご自分で選択したカテゴリーに属する内容のメールが自動的に配信されるものです。



- ・町内外問わず全ての方にご利用いただけます。
- ・登録等に要する費用は一切かかりません。※データを送受信する際の通信料は発生いたします。
- ・携帯電話、パソコンをお持ちでメールの受信確認を行うことができればメールでの配信を行いません。

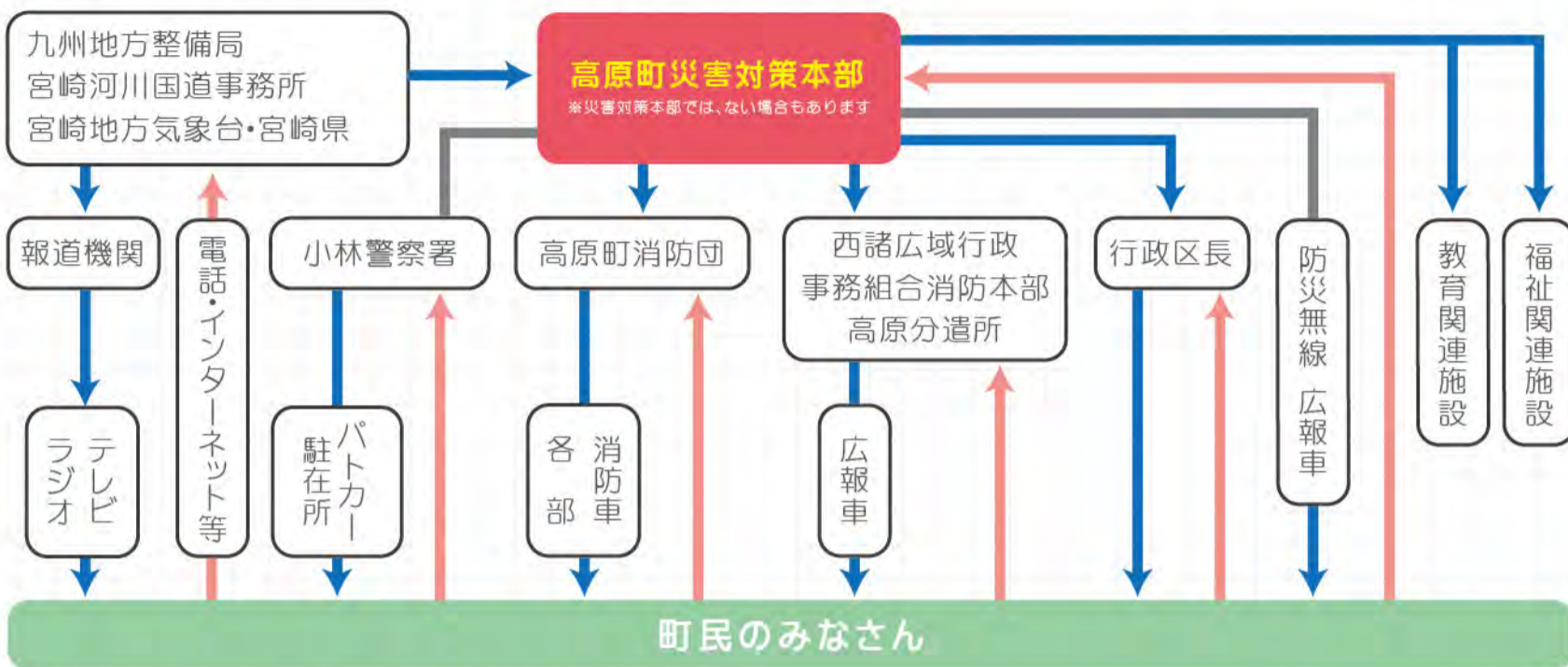
※なお、視覚の弱い方や、文字の認識が難しい方には、電話、Faxでの配信も可能です。総務課危機管理係までお問合せください。

情報伝達 緊急時連絡先

情報伝達経路

気象情報や避難指示などは、次のような経路で町民のみなさんに伝達されます。

大雨や洪水などの注意報・警報はテレビやラジオでも流れますので見落とさないようにしましょう。特に、避難指示が出たら速やかに避難してください。



災害用伝言ダイヤル ※災害時にご利用になれます。

NTTの災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤル **171** 大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。



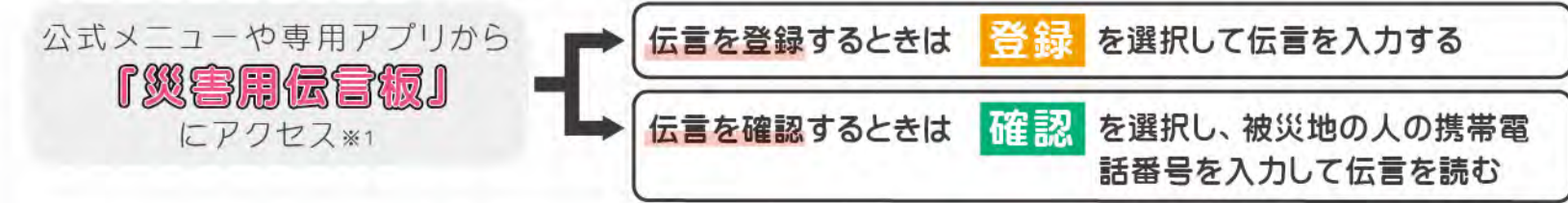
詳しい内容はNTTのホームページで確認してください

[171] または [NTT 伝言板]



携帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板」

大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。スマートフォンや携帯電話からの安否情報の登録・確認ができます。



※1 詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください

備蓄品

高原町では、万一の災害に備えて、避難所や防災拠点などに
 食料や生活必需品などを備蓄しています。

また、近隣市町村、広域災害に備えた県外を含む広域市町村、
 関係企業と物資供給等に関する協定を結び、物資の総合的な確
 保体制に努めています。



出典：(一財)消防防災科学センター「災害写真データベース」

》》 備蓄品一覧

飲食料品	ごはん（アルファ米）	白・味付き・おかゆ 等
飲食料品	水	ペットボトル
飲食料品	おにぎり	
飲食料品	味噌汁	
飲食料品	粉ミルク	
飲食料品	野菜ジュース	
飲食料品	長期保存カロリーメイト	栄養補助食品
飲食料品	保存食セット	パン・水・ごはん（1日分）
寝具等	毛布	
寝具等	簡易ベッド	
寝具等	屋内テント（間仕切り可）	世帯・個人用
衛生用品	簡易トイレ	
衛生用品	マスク	
衛生用品	アルコール消毒液	
衛生用品	非接触型体温計	
衛生用品	ビニール手袋	
衛生用品	乳幼児用おむつ	
衛生用品	大人用おむつ	
衛生用品	女性用生理用品	
衛生用品	ペーパー歯ブラシ	
衛生用品	哺乳瓶	
その他	発電機	
その他	ガソリン携行缶	
その他	蓄電池	

※令和5年3月時点





わが家の防災メモ

わが家の
避難先

家族の
集合場所

家族の名前	生年月日	血液型	メモ(病名・病歴、携帯番号、勤務先など)
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	

困ったときの連絡先

消防・救急は **119番** / 警察は **110番**

親戚や知人・かかりつけ病院などの連絡先を書いておきましょう。

名前	連絡先	住所

「逃げなきゃコール」

近年の風水害などでは、高齢者が自宅から必要な避難をせずに被害にあうケースが少なくありません。避難のタイミングがよくわからない高齢者のみなさんは、遠方で暮らす家族に自分が暮らす地域の「逃げなきゃコール」を登録してもらい、連絡があったら避難を考えましょう。

遠方で暮らす家族が高齢者などの暮らす地域をNHK、ヤフー、KDDI、NTTドコモの防災アプリやSMS(ショートメッセージサービス)から登録して利用します。

登録した地域から防災情報が届いたら、高齢者など遠方の家族に「逃げなきゃコール」の電話をかけて避難を呼びかけてもらいます。高齢者のみなさんの避難を後押ししてもらう仕組みです。(逃げなきゃコール <https://www.mlit.go.jp/river/risp/pdf/evacallposB.pdf>)



【逃げなきゃコール】

その他メモ

本誌に記載されていない項目でも、ご自身にとって重要なことを書いておきましょう。
